



2023年5月8日

各位

会社名 愛眼株式会社
 代表者 代表取締役社長 下條三千夫
 (コード番号9854 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役経営企画室長 菅野 忠司
 TEL 06-6772-3730

業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年11月28日に公表した連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせするとともに併せて特別損失の計上をお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,849	△157	△74	△425	△21.90
今回修正予想 (B)	14,198	△475	△385	△803	△41.39
増減額 (B - A)	△650	△317	△310	△378	
増減率 (%)	△4.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	13,804	△584	△438	△690	△35.59

修正の理由

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は、2022年11月から2023年1月中旬にかけて新型コロナウイルス感染症の感染第8波により客足に影響を受けたため前回発表を下回る見込みとなりました。

利益面では、売上高の減少が大きく影響し、営業利益、経常利益ともに前回発表を下回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記2.(1)減損損失の計上及び2.(2)子会社清算損の計上に記載のとおり、当第4四半期連結会計期間において、新たに減損損失77百万円、子会社清算損115百万円を計上する見込みとなり、前回発表を下回る見込みとなりました。

このような状況を踏まえ、2023年3月期通期連結業績予想数値を修正いたします。

2. 特別損失の計上

(1) 減損損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当第4四半期連結会計期間に77百万円の減損損失を計上する見込みであります。その結果、2023年3月期通期におきましては減損損失212百万円を計上する見込みであります。

(2) 子会社清算損の計上

当社の連結子会社である北京愛眼眼鏡有限公司(中国)の清算手続きの一環として、従業員に経済補償金を支払ったこと等により、当第4四半期連結会計期間に子会社清算損115百万円を特別損失として計上する見込みであります。

(3) 関係会社出資金評価損の計上

当社の連結子会社である北京愛眼眼鏡有限公司(中国)への出資金について、帳簿価額に対して実質価額が著しく低下したため、2023年3月期の当社個別決算において関係会社出資金評価損155百万円を特別損失として計上する見込みであります。

なお、関係会社出資金評価損は連結決算上消去されるため、連結業績への影響はありません。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上